

別表第1 (第5条関係)

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	学習資料館管理運営費					
担 当 課 係 名	学習資料館 課		学習資料館 係		作成者	高橋眞行美
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち				総合計画の ページ
	基本計画	生涯学習の推進と社会教育施設の整備				
	主要施策	学習資料館の充実				96
予 算 費 目	一般 会計	10 款 教育費	5 項 社会教育費	5 目	学習資料館及び イベント交流館費	
事 業 期 間	平成 19 年度 ～ 平成 19 年度			新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	仙北市総合情報センター条例第 1 条					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民及び地域住民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市民の自己学習の奨励、手助けをする施設
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	積極的な図書館研修又運営協議会委員の意見を取りいれ利用者が気軽に心豊かに過ごせる環境づくりを推進する。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	開館日数	日	275	271		
		入館者数	人	136,065	123,496		
	成果指標						
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費（人件費を除く）(A)			427	502		
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金					
		地 方 債					
		そ の 他		77	57		
		一 般 財 源		350	445		
		人 件 費 (B)		—	7,853	8,071	
	職 員 数		—	1.0	1.0		
	職 員 平 均 人 件 費		—	7,853	8,071		
	(A) + (B) 投下コスト		—	8,280	8,573		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト (円)		—	30,109	31,635	
				—	61	69	
		市民1人当たりのコスト(円)		—	260	273	

【事務事業の今までの成果】

市民の生涯にわたる自己学習の機会を創出するため、市民の要求にこたえ、情報資料等を提供している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	指定管理者制度の導入及び夕張市の破綻が大きく影響して図書館の経営に危機意識が生じ、積極的な試みがなされている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	最近では市民参加型の催事が求められている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	◎イベント交流館併設の特質を最大限に活用し、郷土先覚者の紹介などを通じて情報を発信している。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	自己学習の奨励、手助けする施設として利用者が気軽に利用できる施設の提供のため引き続き事業の推進が必要考える。

一次評価診断図

